

令和7年度

神戸SDGs表彰

大賞・奨励賞・功劳賞

12月23日（火） 神戸市役所

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



 神戸市

神戸SDGs大賞

神戸SDGs大賞はSDGsの達成に向けて革新的な活動を行い、功績が極めて顕著な方々に対してお贈りするものです。



特定非営利活動法人 神戸海さくら



須磨海岸での継続的なビーチクリーン活動を通じ、地域・企業・行政と協働し持続可能な海洋環境保全を推進している。

活動開始時期 2013年～

活動内容等 須磨海岸で毎月1回以上、12年間、計335回、ビーチクリーン活動を継続し、延べ15,618人が参加、45Lゴミ袋5,800個分の海洋ゴミを回収してきた。従来のビーチクリーン活動に加えて、海岸利用者にごみの分別や資源循環を呼び掛ける「スマイルビーチプロジェクト」の実施や、神戸市内の珈琲店から取り寄せた珈琲豆輸入用の麻袋を活用し、須磨区内の福祉事業所でごみ回収袋に加工するなど、神戸らしく「お洒落で楽しい」スタイルを取り入れることで、若い世代を含む幅広い市民が年間2,500人以上参加する、地域に定着した活動へと発展している。

地域の学校・企業とも積極的に協働を行い、環境教育セミナーや若手サミットを開催し、次世代育成にも力を入れている。また、漁業者や環境団体と共に「Suma豊かな海プロジェクト」を立ち上げ、本プロジェクトでは、アマモ移植や生物調査、漁業体験を通じて、地域産業や生態系保全活動、ブルーカーボンの普及啓発に努め、豊かな海を目指す取組みを続けている。

これらの革新的かつ着実な活動と、地域・企業・漁業者・行政と連携し、市民を巻き込んだ実績は、全国の都市型海岸における海洋環境保全のモデルとなり得るものであり、SDGsの達成に向けた持続可能な都市の実現に大いに貢献している。



神戸SDGs奨励賞

神戸SDGs奨励賞はSDGsの達成に向けて先進的な活動を行い、今後の活躍が特に期待される新進気鋭の方々に対してお贈りするものです。



神戸大学大学院理学研究科 津田研究室



下水から発生するバイオガスを原料として、光ものづくりによるグリーン化学品の開発・実証に取り組み、本格的な社会利用を目指して活動を行っている。

活動開始時期 2008年～

活動内容等 バイオガスを原料に、光で医薬品原料やポリマーなどの化学品を合成する「光オン・デマンド有機合成法」の開発に取り組んでいる。

2024年に神戸大発スタートアップ「光オンデマンドケミカル株式会社」を立ち上げ、神戸市の下水処理場から発生するバイオガス（メタンを主成分としたガス）を原料として、光で有用化学品が合成できることを実証した。

従来の発想にとらわれず、新しい生産プロセスを探索することで、神戸発で世界初の「光ものづくり」の社会実装に取り組み、産官学金の連携で光ものづくりの本格的な社会利用を目指している。

これらの先進的な取り組みは、SDGsの達成に向けた持続可能な都市の実現への貢献が大いに期待される。



合同会社 廃屋



廃材を活用した空き家再生・活用を実践し、地域の資源循環を推進している。

活動開始時期 2018年～

活動内容等 屋根が落ち柱や壁も傷んだ空き家“廃屋”を積極的に取得し、廃材を活用しながら魅力的な空き家再生を行ってきた。神戸市兵庫区北部の梅元町の廃屋9棟をまとめて改装し、新たなコミュニティの場を生み出すような活動も行っている。

国内外からのアーティストやクリエイターを積極的に受け入れ、再生された空き家でアーティストの表現活動が盛んに行われ、地域ににぎわいを生み出すと共に、地域課題について多くの人が考えるきっかけを生み出すことにも繋がっている。

また、空き家再生や災害時に必要な技術を持つ大工の育成を目的として、ものづくりの楽しさや考え方を学ぶ「半人前大工育成講座」、空き家を活用した蚤の市、廃材や小道具を無償や言い値で持ち帰ることができるイベントの開催を行っている。

これらの先進的な取り組みは、SDGsの達成に向けた持続可能な都市の実現への貢献が大いに期待される。

神戸SDGs功労賞

神戸SDGs功労賞はSDGsの達成に向けて長年にわたり活動し、功績が顕著な方々に対してお贈りするものです。



出合水路を育む会



地域を流れる水路が社会に果たす役割を次世代に伝え、地域資源として維持・継承していく活動を展開している。

活動開始時期 2000年～（団体設立は2019年）

活動内容等 団体設立以前から、区画整理事業を行わずに市街化された地域において、地域の防災力や生活環境の維持向上のため、地域資源である水路の保全に取り組んできた。

団体設立後は、地域住民が自らの生活環境に関心に向け、地域を流れる水や水路、自然が将来にわたって維持されるよう、定期的な清掃や啓発活動を続けるとともに、地域の小学校と連携して環境学習、体験授業を実施し、次世代を担う子どもたちが地域の環境を考えるきっかけ作りを行っている。

また、近年は地域資源を楽しみながら活用することで、地域住民のみならず地域外からの参加者もその価値を実感でき、清掃活動への参加者の増加や地域資源の維持、改善に繋がっている。

これらの長年にわたる取り組みは、SDGsの達成に向けた持続可能な都市の実現に貢献している。



特定非営利活動法人 北神戸田園ボランティアネット



北区の里山・棚田を中心に多様な人々が交わり、伝統的生活文化や自然との関わり方を次世代に継承している。

活動開始時期 2006年～

活動内容等 里山・棚田を中心とした農作業体験や伝統的な食文化教室などを開催し、地域コミュニティの維持や、里地里山の活用・保全、資源の循環利用に取り組んできた。参加者がスタッフへ成長する人材の好循環も生んでいる。

里地里山を適切に管理し、生態系の生物多様性を維持するため、外部専門家の知見を取り入れ、日々改善を行っている。

また、地域の小学校の環境学習の受け入れや地域のとんどの開催など、地域のコミュニティとの関わりも積極的に行っている。

これらの長年にわたる活動は、SDGsの達成に向けた持続可能な都市の実現に貢献している。